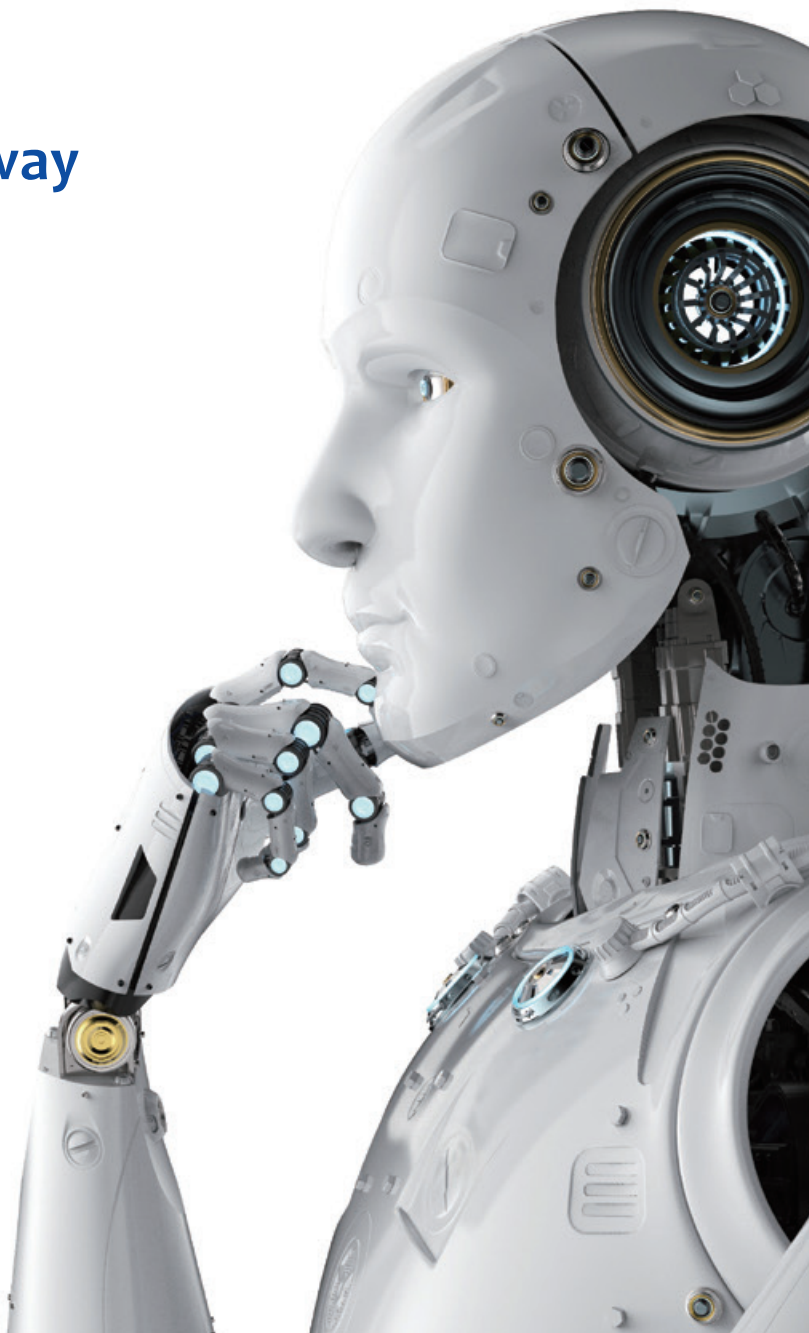


FUJI robots lead the way

第 **74** 期
中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日





自動化技術の裾野を広げ、 ロボットカンパニーとしての 確固たる地位を築いてまい ります

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、当グループ2019年度中間期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の営業の概況につきましてご報告申しあげます。

代表取締役社長

須原信介

市場環境と成果

当中間期におけるわが国経済は、輸出の低迷を背景に景気に足踏み感が見られました。世界経済は、欧州では堅調な個人消費が景気を下支えした一方、中国では米中貿易摩擦の激化等により景気の減速感が強まり、北米においては個人消費は堅調に推移したものの米中貿易摩擦の激化を受け企業の設備投資は伸び悩みました。

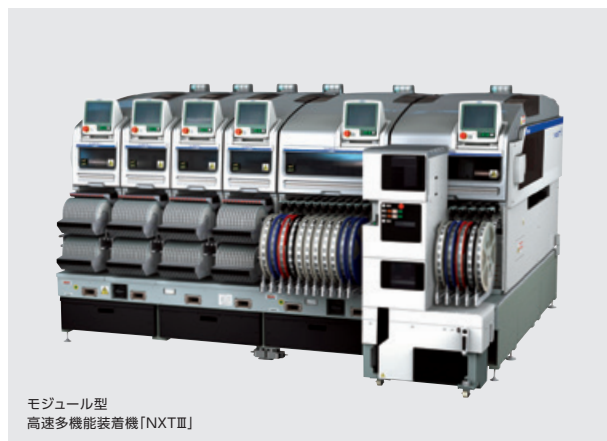
このような環境のなかで、当グループは、『お客様に感動を！』のコーポレートスローガンのもと、ロボット技術を軸に時代を捉え未来を切り拓いていくことを成長戦略の基本とし、変革にチャレンジしてまいりました。主力の電子部品実装ロボットや工作機械の分野でこれまで培ってきた自動化技術をさらに醸成させた独創的な製品の開発に取り組み、電子部品実装工程の全自動化を目指し、世界初の自動部品補給システムを搭載したハイエンドモデルNXTRを発表しました。また、グループ会社間の連携による国内外の販売・技術サポート体制の強化やトータルソリューションの推進、顧客満足度の向上により、継続的なマーケットシェアの拡大に努めるとともに、IoTを活用したより効率的で無駄のない生産環境の整備と充実を進め、収益性の向上を目指してまいりました。

以上の結果、当中間期における売上高は722億2千5百万円となり、前中間期と比べて101億4千1百万円（16.3%）増加しました。これは主に、既存のロボットソリューション事業において売上を伸ばしたことに加え、2018年9月30日をみなし取得日としてファスフォードテクノロジー株式会社を連結の範囲に含めた影響によるものです。一方、価格競争の激化による売価下落等により、営業利益は112億3千万円と、前中間期と比べて3億4百万円（2.6%）減少し、経常利益は113億5千1百万円と、前中間期と比べて6億3千万円（5.3%）減少しました。また、特別利益として投資有価証券売却益を計上した結果、親会社株主に帰属する中間純利益は86億8千5百万円となり、前中間期と比べて1千5百万円（0.2%）増加しました。

事業別の成果

ロボットソリューション事業

当事業では、プリント基板上に多種多様な部品 (IC、チップ等) を装着する電子部品実装ロボット及び周辺機器を手がけております。



モジュール型
高速多機能装着機「NXTⅢ」

スマートフォン、次世代通信規格5G関連向け設備が堅調に推移したため、主に中国市場向け売上が伸長した一方、日本国内及び北米市場においては世界経済の先行き不透明感から設備投資に対し慎重な姿勢が見られました。この結果、売上高は649億6千3百万円となり、前中間期と比べて106億4千6百万円 (19.6%) 増加しました。一方、価格競争の激化等により、営業利益は125億9千4百万円となり、前中間期と比べて5億9百万円 (3.9%) 減少しました。

マシンツール事業

当事業では、金属素材を削り、各種製品の部品を加工する工作機械を手がけております。



正面2スピンドル旋盤
「CSD300Ⅱ」

日本国内では売上を伸ばしたものの、北米市場での設備投資が軟調に転じたため、売上高は63億3千7百万円となり、前中間期と比べて1億6千4百万円 (2.5%) 減少しました。また、新工場棟建設に伴う減価償却費等の固定費増加により、営業利益は1億3千3百万円となり、前中間期と比べて2億5千5百万円 (65.7%) 減少しました。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ格別のご理解と一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



決算のポイント

売上高

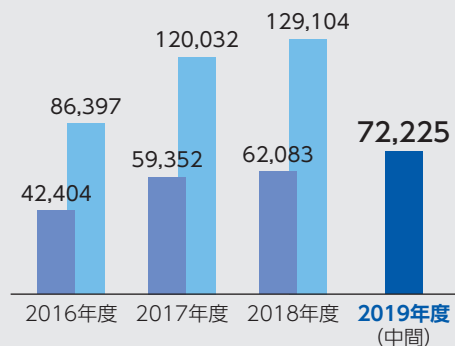
前年同期に比べ、101億4千1百万円の増収となりました。

営業利益

価格競争の激化による売価下落等により、前年同期に比べて3億4百万円の減益となりました。

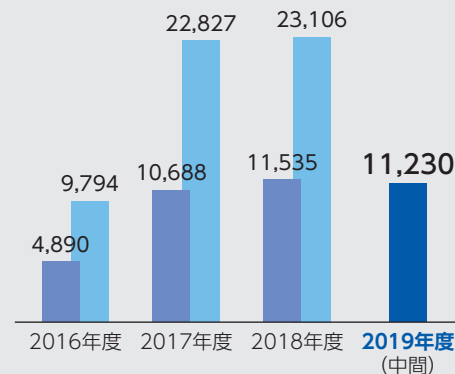
売上高(百万円)

■ 中間 ■ 期末



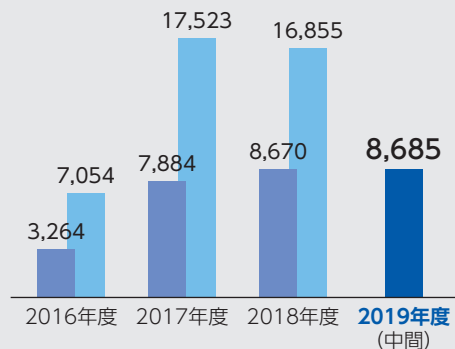
営業利益(百万円)

■ 中間 ■ 期末



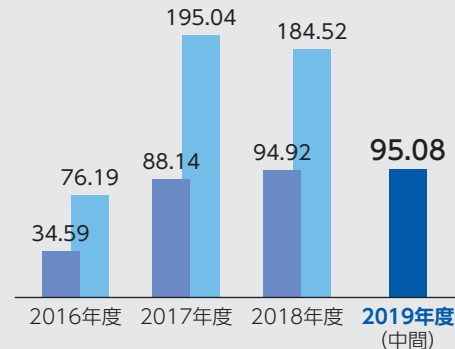
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益(百万円)

■ 中間 ■ 期末

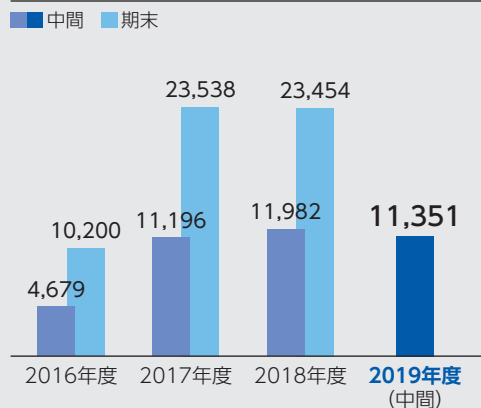


1株当たり中間(当期)純利益(円)

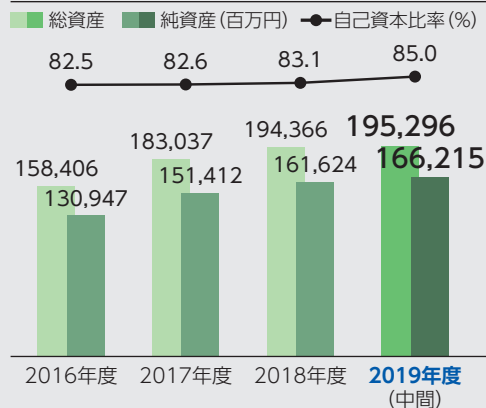
■ 中間 ■ 期末



経常利益 (百万円)

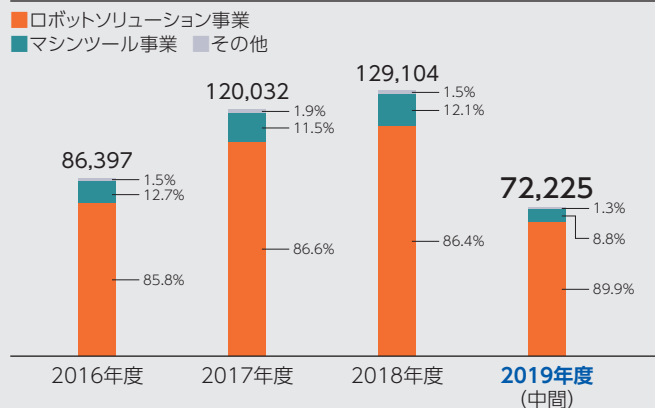


総資産／純資産／自己資本比率

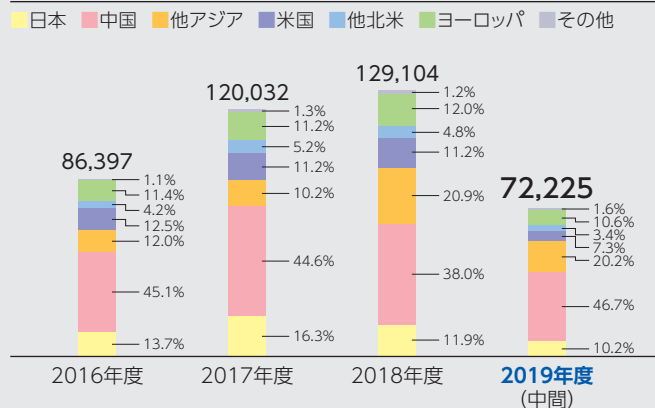


(注) 2018年度より「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を適用しており、2017年度につきましては遡及適用後の数値を記載しております。

セグメント別連結売上高 (百万円)



地域別連結売上高 (百万円)





中間連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

中間連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨)

科 目	2019年度 中間期	2018年度 中間期	2018年度
資産の部			
流動資産	120,589	114,522	118,528
現金及び預金	32,132	33,769	30,755
受取手形及び売掛金	42,271	36,801	35,256
有価証券	5,412	4,575	6,711
商品及び製品	9,722	10,365	9,502
仕掛品	19,444	17,778	21,378
原材料及び貯蔵品	8,469	7,923	8,840
その他	3,164	3,340	6,117
貸倒引当金	△26	△32	△34
固定資産	74,706	80,563	75,837
有形固定資産	25,068	22,947	25,128
無形固定資産	25,121	26,240	25,492
のれん	13,320	14,271	13,796
その他	11,801	11,968	11,696
投資その他の資産	24,517	31,375	25,216
投資有価証券	23,137	30,074	24,030
その他	1,379	1,300	1,186
資産合計	195,296	195,086	194,366

科 目	2019年度 中間期	2018年度 中間期	2018年度
負債の部			
流動負債	19,652	25,825	23,164
支払手形及び買掛金	8,292	8,504	7,273
未払法人税等	2,875	3,346	3,418
製品保証引当金	1,081	1,113	1,073
その他	7,401	12,862	11,398
固定負債	9,428	10,670	9,578
社債	7,230	7,237	7,234
退職給付に係る負債	199	638	577
その他	1,997	2,794	1,766
負債合計	29,080	36,496	32,742
純資産の部			
株主資本	157,352	145,050	150,951
資本金	5,878	5,878	5,878
資本剰余金	5,924	5,924	5,924
利益剰余金	153,330	141,026	146,928
自己株式	△7,781	△7,780	△7,781
その他の包括利益累計額	8,651	13,353	10,482
その他有価証券評価差額金	8,001	10,906	8,867
繰延ヘッジ損益	8	—	11
為替換算調整勘定	700	2,464	1,721
退職給付に係る調整累計額	△58	△17	△117
非支配株主持分	211	186	190
純資産合計	166,215	158,589	161,624
負債純資産合計	195,296	195,086	194,366

(注) 1.有形固定資産の減価償却累計額 2019年度中間期: 34,728百万円 2018年度中間期: 33,060百万円 2018年度: 33,817百万円

2.2018年度中間期連結会計期間に実施したファスフォードテクノロジー株式会社の株式取得について、取得原価の配分が完了していなかったため、のれんの金額は暫定的に算出された金額でありましたが、2018年度第3四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、2018年度中間期につきましてはのれんの金額を遡及修正した数値を記載しております。

中間連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨)

科 目	2019年度 中間期	2018年度 中間期	2018年度
売上高	72,225	62,083	129,104
売上原価	45,389	36,606	76,468
売上総利益	26,835	25,477	52,636
販売費及び一般管理費	15,605	13,942	29,530
営業利益	11,230	11,535	23,106
営業外収益	455	634	922
受取利息	126	134	283
受取配当金	248	207	437
為替差益	—	230	—
雑収入	80	61	201
営業外費用	334	188	574
支払利息	△1	2	△0
支払手数料	3	173	178
為替差損	327	—	63
雑支出	4	12	333
経常利益	11,351	11,982	23,454
特別利益	739	21	265
固定資産処分益	11	21	33
投資有価証券売却益	728	—	232
特別損失	106	43	272
固定資産処分損	106	43	175
減損損失	—	—	96
税金等調整前中間(当期)純利益	11,985	11,959	23,447
法人税、住民税及び事業税	2,978	3,381	6,889
法人税等調整額	295	△104	△313
中間(当期)純利益	8,711	8,683	16,871
非支配株主に帰属する中間(当期)純利益	25	12	15
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	8,685	8,670	16,855

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円未満切捨)

科 目	2019年度 中間期	2018年度 中間期	2018年度
営業活動による キャッシュ・フロー	9,459	675	4,186
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,321	△23,640	△28,458
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,284	△1,828	△4,111
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△516	726	312
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,335	△24,066	△28,071
現金及び現金同等物の 期首残高	30,852	58,923	58,923
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	32,188	34,857	30,852

ホームページのご案内

ホームページにて企業情報を随時開示しております。
製品紹介のサイトでは当社が出展した展示会情報等を掲載しているほか、
IR情報のサイトでは決算短信やアニュアルレポート等をご覧いただけます。



スマートフォンやタブレット等から、下記を読み取ってアクセスすることもできます。



<https://www.fuji.co.jp/>

新機種

NXTR発表

電子部品実装工程の全自動化を目指し、世界初の自動部品補給システムを搭載したハイエンドモデル「NXTR」を発表しました。「NXT」のコンセプトを継承しつつ、自動化とIoTを活用することで品質の向上と安定生産を実現します。



世界初

電子部品実装ロボット「NXTR」



特長「3つのゼロ」

実装不良

ゼロ

新開発のセンシング技術により、電子部品の吸着から装着までをリアルタイムに監視することで、安定した高い実装品質を確保します。

オペレータ

ゼロ

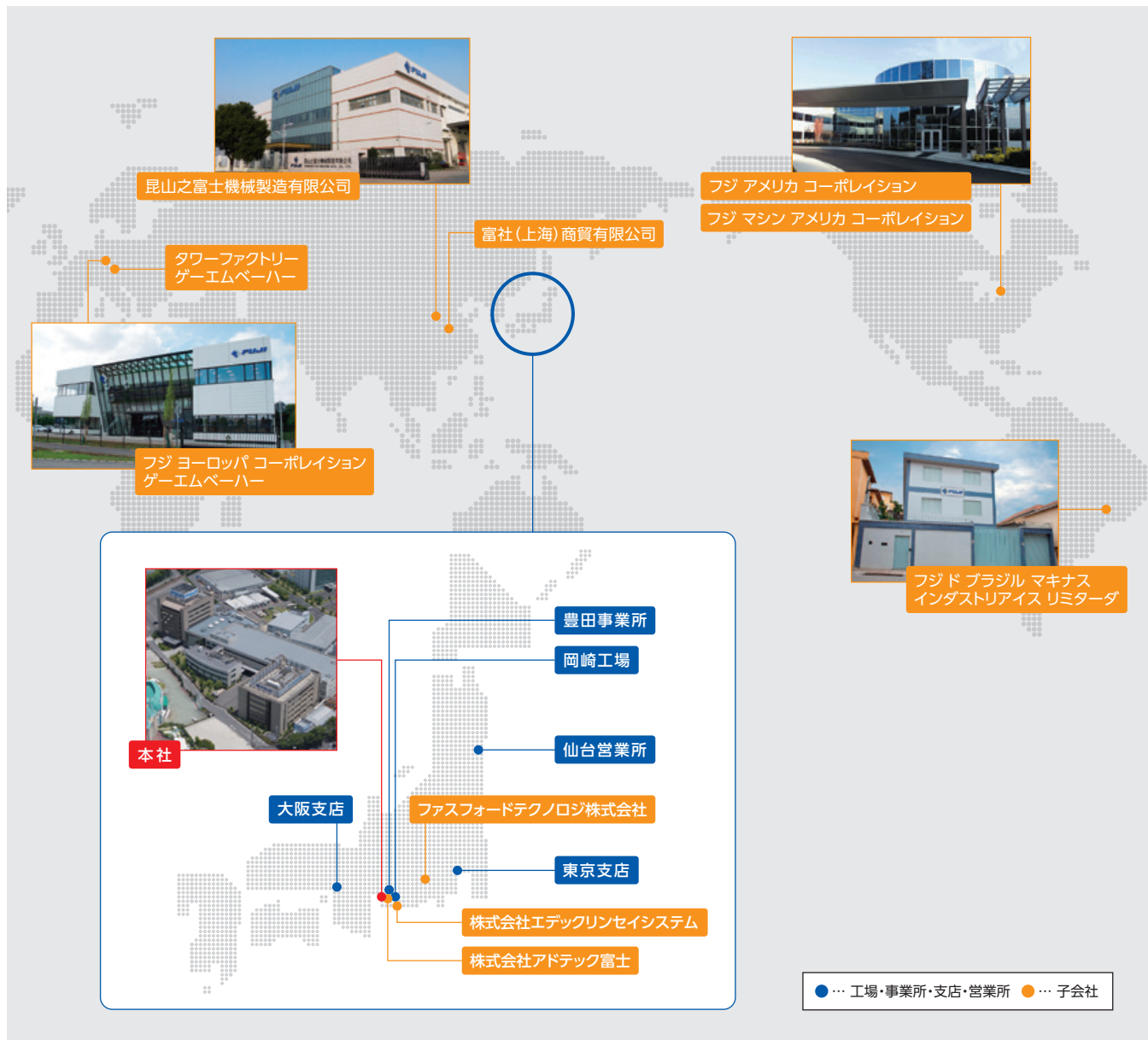
新開発のスマートローダが、生産スケジュールに合わせて、電子部品の補給、次生産への段取り替えを完全自動化します。これにより、作業の遅れやセットミスによる部品供給不良等を一掃します。

機械停止

ゼロ

NXTシリーズ同様、装着ヘッド等が工具なしで交換可能。メンテナンスをオフラインで実施することで生産を止めません。また、自己診断機能により予知保全が可能となり、生産計画に支障を与える突然の機械停止を防ぎます。

8月に中国（深圳）で行われたアジア最大の国際エレクトロニクス製造・実装技術展「NEPCON ASIA 2019」に出展し、代理店とともに従来の2倍以上、過去最大規模の当社ブースを構えました。社長の須原自ら「NXTR」を紹介し、来場者からは多くの反響をいただきました。





会社の概況

Corporate Data



会社の概要

商 号	株式会社FUJI FUJI CORPORATION	支 店	東京、大阪
本 社 所 在 地	愛知県知立市山町茶碓山19番地	営 業 所	仙台(宮城)
設 立	1959年4月	工 場	本社、岡崎、豊田 (以上愛知)
資 本 金	5,878百万円	主要な事業内容	電子部品実装ロボット及び工作機械の製造、販売
		従 業 員 数	連結2,506名、単体1,701名 (2019年9月30日現在)

役員及び執行役員 (2019年9月30日現在)

役 員



代表取締役会長
曾我 信之



代表取締役社長
須原 信介



取締役 専務執行役員
河合 孝昌



取締役 常務執行役員
江崎 一



取締役 執行役員
巽 光司



取締役 執行役員
杉浦 昌明



取締役※
川合 伸子



取締役※
玉田 秀彰



常勤監査役
畔柳 泰明



監査役※
松田 茂樹



監査役※
山下 佳代子

(注) ※印の取締役及び
監査役は社外役員
であります。

執行役員

上席執行役員 片山 正己

上席執行役員 勝見 裕司

上席執行役員 真下 勝浩

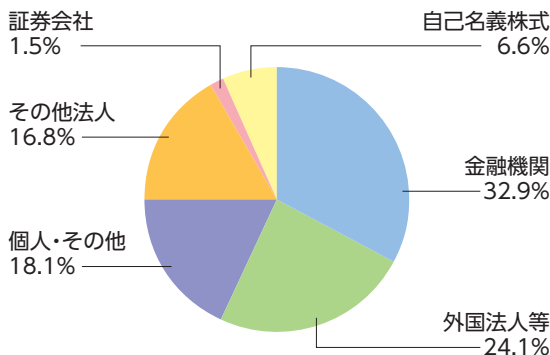
執 行 役 員 加納 淳一

執 行 役 員 今井 美津男

執 行 役 員 鈴木 隆紀

発行可能株式総数 390,000,000株
 発行済株式の総数 97,823,748株
 株主数 9,620名

所有者別分布状況

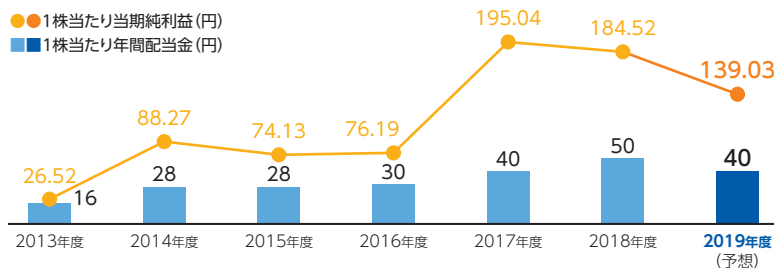


大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率
大同生命保険株式会社	6,684	7.31%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,903	5.36%
株式会社三菱UFJ銀行	4,272	4.67%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,821	4.18%
FUJI取引先持株会	2,920	3.19%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	1,913	2.09%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,735	1.89%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	1,660	1.81%
株式会社名古屋銀行	1,554	1.70%
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,483	1.62%

(注) 1.当社保有の自己株式(6,479,000株)については、上記上位10名の株主から除外しております。
 2.持株数は千株未満を切り捨て、持株比率は自己株式を控除して計算し小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

1株当たり当期純利益・1株当たり年間配当金



配当政策及び配当金

当社の利益配分に関する基本方針といたしましては、将来の事業展開に伴う資金需要に配慮しつつ、株主の皆様への継続的な利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置づけ、安定配当の維持に努めてまいります。

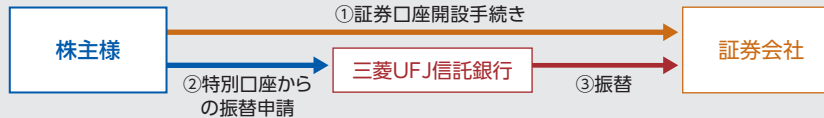
今期の配当金につきましては、中間配当金、期末配当金を各々1株につき20円とし、年間では40円とさせていただきます。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 受付時間:土・日・祝祭日等を除く平日9:00～17:00 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
定時株主総会	6月中		
配当金受領株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施するときの 中間配当金受領株主確定日は 9月30日であります。	公告掲載方法	電子公告（当社ホームページ https://www.fuji.co.jp/ に掲載いたします。） ただし、事故等で電子公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株		
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号		

【ご注意】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座*に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。



*特別口座とは、2009年1月の株券電子化移行時点で、証券会社の口座に当社株式をお預けになっていない株主様のために、当社が三菱UFJ信託銀行に開設した口座のことです。

[手続き書類のご請求方法] ○インターネットによるダウンロード <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

マイナンバーに関するお知らせ

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主様からお取引の証券会社等へ、マイナンバーをお届出いただく必要がございます。

◎マイナンバーの取扱いについて

株式等の税務手続においては法律に従い、以下のような支払調書を作成・提供するためにマイナンバーを使用いたします。

- 主な支払調書
- 配当金等に関する支払調書
 - 単元未満株式の買取請求等、株式の譲渡取引に関する支払調書

◎マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券口座にて株式を管理されている株主様

お取引のある証券会社等までお問い合わせください。

証券会社とお取引がない株主様

フリーダイヤルまでお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

0120-232-711 (通話料無料)

受付時間:土・日・祝祭日等を除く平日9:00～17:00



株式会社 FUJI
〒472-8686
愛知県知立市山町茶碓山19番地



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

